

あげ、  
そげ、  
ばげ。



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江



## 小泉八雲とセツが出会ったまち 松江



### Symbol

松江に滞在した期間は約1年3か月と短かった八雲ですが、その地で生涯のパートナーと出会いました。

片目が不自由だった八雲にとって、見たいものや聞きたいものがセツによってひらかれていくことで、松江は二人にとって心豊かな世界へと変わっていったのではないのでしょうか。

挿絵画家C.Dウェルドンが描いた「ニューヨークを旅立つ八雲」の後ろ姿をモチーフに、松江で出会い心の旅を共にするセツと八雲、二人の後ろ姿を描いています。

なお、八雲は左目を表に晒すことを嫌っていましたが、セツにだけは心を許しているだろうということから、右に八雲、左にセツの並びとしています。



### Catch copy

「あげ(あれ)」「そげ(それ)」とは、松江の方には言わずと知れた方言ですが、県外の人にとっては純粋に「音」として面白い響きをもっている言葉ではないでしょうか。

海外から来た八雲も、日本語の持つ音の響きの面白さを純粋に楽しんでいただろうと考えられます。

ドラマとの関連性を示唆しつつ、口に出したときの軽快なリズム、方言のあたたかみを表現したキャッチコピーです。

松江をアゲていくこと、不要なものを削いでいくことで変化していく、「あれも、それも、ばけるよ。」という意味ですが、深い意味があるというよりは、「あげ、そげ、ばけてどうの意味?」といった観光客の方と地元の方とのちょっとしたコミュニケーションのきっかけがうまれること、そしてよきバケーションになるようにという思いをこめています。



DIC 375 #53732A  
RGB R:83 G:115 B:42  
CMYK C:69 M:38 Y:100 K:21

DIC206 #EEB144  
RGB R:238 G:177 B:68  
CMYK C:3 M:35 Y:77 K:4

### Color scheme

深緑は松江の市木の松の色を、黄色は明るい未来を象徴した色として配色しています。地の白と合わせて、アイルランドの国旗に近いカラーとなっています。